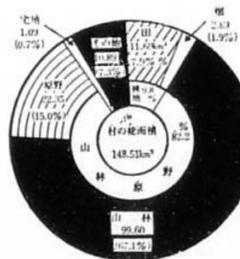


東由利村報

No. 143 1969・6・1

発行 秋田県東由利村役場 印刷 KK本間印刷所
毎月1日発行(1部8円) 昭和42年7月21日第三種郵便物認可



世帯と人口		財政	
世帯数	1,601世帯	一般会計	220,143千円
人口	7,517人	特別会計	57,349千円
男	3,701人	国保	55,068千円
女	3,816人	内訳	黒診 799千円
前月に比し世帯は6の増		簡水	939千円
人口は13の減		玉財	543千円

3年計画の第一年度 動きだした...林構事業

投資の大半は林道に 近代林業の扉ひらくか

3年計画で行なわれる、本村の林業構造改善事業は始動した。この全体計画の総事業費は五千七百万円であり、ことしは三七割強の二千九百万円の事業が行なわれるが、事業費の六〇割強は、林道二路線の開設に投じられる。本村の林野面積は総面積の八二割、また山林面積は六七・一割を占めている。したがって、これを高度に活用するかどうかは、本村産業を進展させる上で重要な課題である。以下すでに動きだした、ことしの事業内容をひらいてみる。

第一 このうち六〇割強の千二百八十萬三千円は、林道二路線の開設に投じられる。これは延長九〇〇メートル、幅員三メートルの規模であり五百二十七万七千円を投じて、受益戸数二戸の民有林三三〇畝内にあり、森林の蓄積量三、一八五立方メートルの木材生産量の増加をさそふものとして期待されている。

第二 このうち六〇割強の千二百八十萬三千円は、林道二路線の開設に投じられる。これは延長九〇〇メートル、幅員三メートルの規模であり五百二十七万七千円を投じて、受益戸数二戸の民有林三三〇畝内にあり、森林の蓄積量三、一八五立方メートルの木材生産量の増加をさそふものとして期待されている。

林道 二年次工事に着手 九月まで三七一メートル

国県からの五割補助を受け、着工している。牧山林道新設工事は、いよいよ二年目をむかえ、ことしの工事分、延長三七一メートル、幅員三・六メートル、工事費三百四十二万五千円で行なうことになった。

この工事の入札は5月19日役場で行なわれ、昨年に引き続き、柳沢利一氏に落札、ことし9月11日竣工、完成はここのところである。

【写真、第一年度工事の終点から県道、老方沼館線への接点をのぞむ】

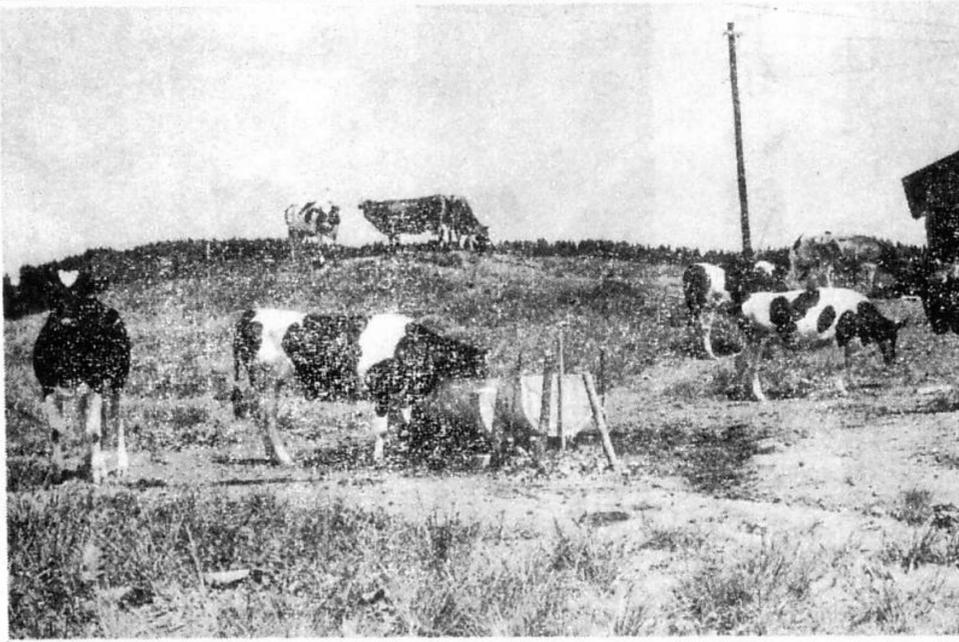
造林組合が機械化

「悩みの労働力解消へ」また二つめは、近年の労働力不足をおぎなうため、造林をさかんにするために村内の、舟沼・法内・業師・館合・黒淵・八塩の各造林組合が百九十九万五千円を投じて、刈払機三台、チェーンソー六台を設置、造林意欲をもりたてることにも作業能率を向上させる。(三分の一補助)

【杉の育成期間短縮へ】在来からの杉の育成期間を短縮し、生産量を増大させるためのモデル的造林をして、村内への啓蒙を行なう。これには六十萬一千円が投じられる。(二分の一補助)

施設に寄附

本村大琴の畑山悦子さんは香典がえしに、恵まれない子どもへの施設へと、五千円を村社会福祉協議会を通じて寄附された。



澄んだ青い空、緑したたる放牧場に牛の放牧がはじまった。開牧したのは、東由利放牧場(28畝)が5月12日から1日平均35頭である。ここでは飼育者の年来の希望を入れて、成牛と育成牛(子牛)の牧区を別けた。育成牛には配合飼料が与えられると

村道改良一〇カ所 今月いっぱい竣工

村単独事業である祝沢線の浮ぶた地内道路改良工事など一〇カ所の入札は、5月19日役場で行なわれ、それぞれ施

住宅資金貸します 組合員の窓口は農協

農山漁村 農協が、住宅資金の貸しつけが、5月1日から8月30日まで、貸しつけ予定数に達し次第、貸しつけられることとされている。

また、これと併せて従業員への持家住宅などの融資もありませんので、役場の経済課へお問い合せください。

テレビ塔を守ろう

6月下旬から7月上旬にかけて調査員が訪問しますので協力してください。

六月中の加入を優待 交通災害共済制度 本村はまだまだ

交通事故は、われわれの日常生活を、つねにおびやかしている。そのため、全県の市町村では、おたがいの力を出し合っ

あり、宣伝期間が少なかったことしに限り、一カ月二五円の月割加入を認めている。しかし、4月から入った人と、7月からの途中から入った人に、同じ保険金を支払ったのでは不公平なので、7月以降の月割加入者には加入月に見合う減額保険金を支給しよう、という早く加入した人への優待を強めた。したがって、6月末日まで加入されるのが望まれる。また「月割加入を認める」が、冬の間は自動車

行政相談委員に 畠山友一氏が

新しい行政相談委員に、畠山友一氏(写真)が委嘱された。老方横小路、五〇才。

行政相談委員は、秋田行政監察局で行なっている行政相談の窓口として、役所しごとにつき困っていること、納得がいかないこと、希望することなどにつき相談を受けるのが主な役目である。

事業所統計が行なわれます

7月1日現在で、事業所統計調査が国の指定統計として行なわれます。

今月の納税

△ 村県民税第一期 △

梅津千代太郎氏に叙勲 勲六等単光旭日章の榮譽

梅津千代太郎氏(七三歳)は、天皇ご誕生のよき日をもって、勲六等に叙せられ単光旭日章の榮譽に輝



写真は村長梅津氏 在任当時の梅津氏

本村の梅津千代太郎氏(七三歳)は、天皇ご誕生のよき日をもって、勲六等に叙せられ単光旭日章の榮譽に輝

このたびの叙勲は、同氏が旧村の村長に就任するなどの功績による。

同氏は旧村長に初就任した直後の昭和22年6月には大水害。昭和29年5月には大琴

新村の一体をおし進めることに専念し、32年1月には村役、下郷村長、東由利村長。

それまで旧村役場庁舎を一年交替で持ちまわり、という役場本庁制に終止符を打つなど多難な合併直後の新村づくりを、人も知る温厚、情操ゆたかな人柄で築いていった。

